

64 自分づくり

新年が始まり、子どもたちの発育測定も進みました。保健室で体重や身長を計測します。身長はどうでしたかと尋ねると、「のびたぁ」「大きくなったよ」という返事が返ってきます。前回の測定からさほど時間はたっていませんが、日々子どもたちは成長を重ねていきます。

1・2年生の生活科では、自分ができるようになったことをピックアップして、自分や友達の成長を発表や掲示物で表現し、実感しようという学びがあります。また4年生では先日もお伝えしましたが、10歳を一つの区切りと考え、自分の成長を祝うための会を開きます。その際にも自分がここまでできるようになったということやここまで自分を育ててくださった家族への感謝の気持ちを表現したりします。また6年生の卒業前最後の授業参観・懇談会の時間でも同じように、成長や感謝をテーマに表現活動に取り組みます。こうした一連の活動は「自分づくり」の取り組みです。この「自分づくり」はキャリア教育の一環です。職業等の体験や見学ももちろんキャリア教育ですが、自分自身をどう見つめ、この先どのように成長させていきたいかを考え、取り組むこともキャリア教育なのです。

2020年オリンピック・パラリンピックイヤーの今年、子どもたちは世界の様々な人たちや文化を目にする機会がますます増えていきます。将来どんな自分になりたいのか、どんな自分になっていくのか、その素地を釜利谷小学校で学び、体験し、じっくりと作ってほしいと思います。